

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 29 号

第 29 週(7月13日～7月20日)

発行年月日:平成20年(2008年)7月25日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

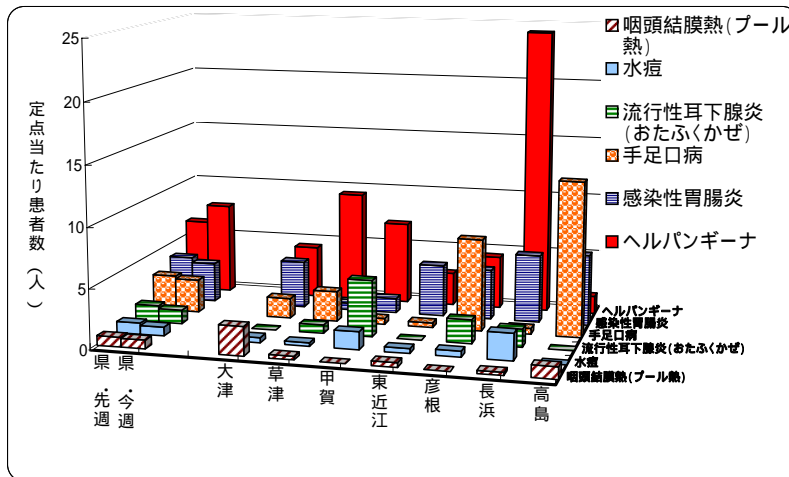
#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生は増加 ヘルパンギーナの発生は長浜保健所管内で急増

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数とほぼ同様です。今週増加した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)、突発性発しんおよびヘルパンギーナ等で、その他の大部分の疾患は減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報発生状況は今週の発生状況に示すとおりですが、咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎で警報発生基準値を超えている保健所があります。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で7名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で3名、四類感染症のレジオネラ症で1名、五類感染症の麻しんで1名の届出がありました。

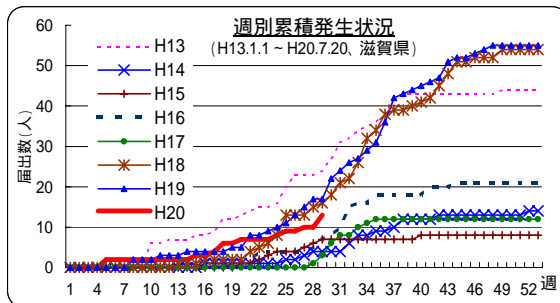
#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第29週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、水痘および咽頭結膜熱(プール熱)の順に多くなっています。

ヘルパンギーナは甲賀および長浜で急増しています。また、手足口病は彦根および高島で、咽頭結膜熱は大津で多くなっています。流行性耳下腺炎は先週に引き続き甲賀で多くなっています。

#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年～平成20年、滋賀県)

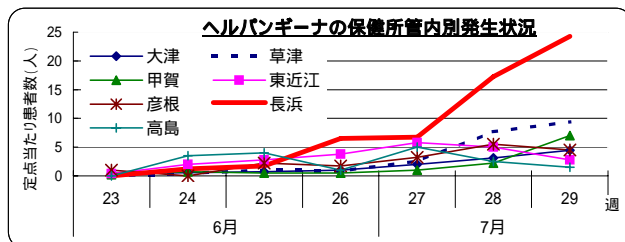


平成20年7月20日現在における届出数 13名の内訳は、男性 5名、女性 8名、診断の類型は患者 10名、無症状病原体保有者 3名です。

血清型・毒素型は O157・VT1 & VT2 7名、O157・VT2 3名、O157・VT1 1名、O145・VT2 1名、O26・VT1 1名です。年齢は0～9歳 2名、10～19歳 1名、20～29歳 7名、30～39歳 1名、50～59歳 2名です。

保健所管内別では、大津 5名、草津 4名、東近江 2名、彦根 2名です。

#### ヘルパンギーナの保健所管内別発生状況 (平成20年第1～29週、H19.12.31～H20.7.20)



## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (29週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (29週)	全国 (29週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	7	155	14,114	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	151	<sup>(*)2</sup> 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	3	13	1,382	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	19	1	22
	E型肝炎	0	0	28	1	54
	A型肝炎	0	2	100	1	154
	デング熱	0	1	35	1	89
	マラリア	0	1	23	1	52
五類感染症	レジオネラ症	1	4	461	8	655
	アメーバ赤痢	0	5	467	15	781
	ウイルス性肝炎	0	3	126	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	88	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	72	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	7	809	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	45	1	56
	梅毒	0	1	451	2	714
	破傷風	0	2	56	0	88
	急性脳炎	0	0	106	2	216
	風しん <sup>(*)3</sup>	0	1	247	-	-
	麻しん <sup>(*)3</sup>	1	34	10,338	-	-

\*1:平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3:平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第29週(7/14~7/20) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: マラリア	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	24例	
二類感染症: 結核	278例	つつが虫病	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
三類感染症: 細菌性赤痢	6例	日本紅斑熱	1例	劇症型溶血性	
コレラ	1例	デング熱	2例	レンサ球菌感染症	1例
腸管出血性		レジオネラ症	27例	ウイルス性肝炎	1例
大腸菌感染症	121例	五類感染症: アメーバ赤痢	14例	破傷風	2例
腸チフス	1例	梅毒	10例	風しん	3例
パラチフス	1例	ジアルジア症	3例	麻しん	71例

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第24~29週, 6/9~7/20)

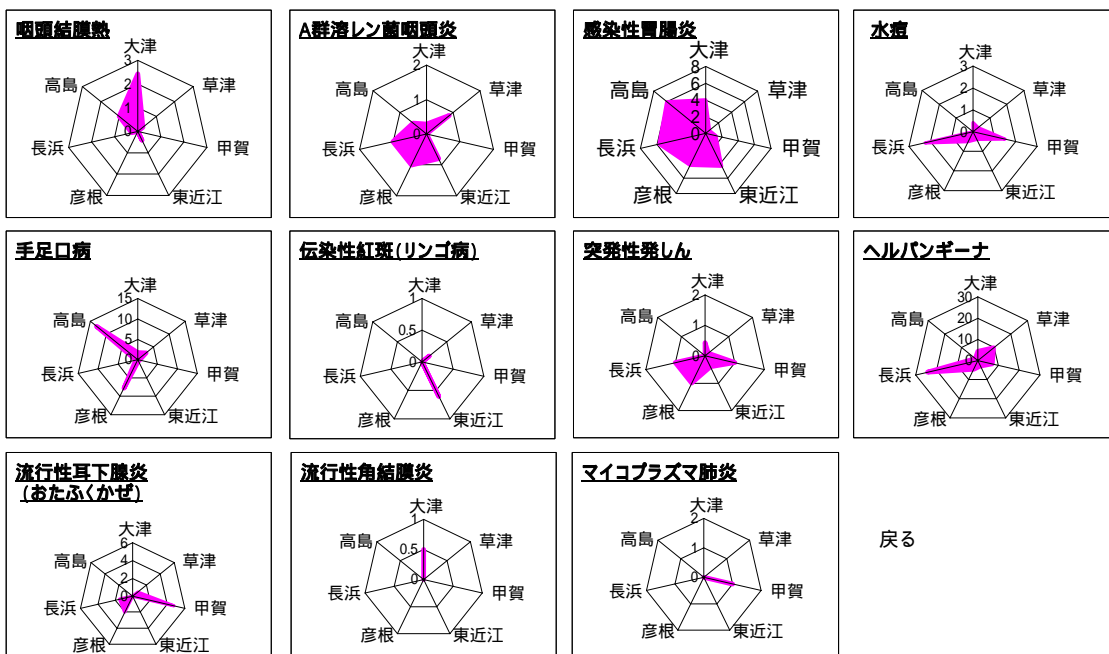
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	24週	25週	26週	27週	28週	29週	週				
	(6/9~)	(6/16~)	(6/23~)	(6/30~)	(7/7~)	(7/14~)	25	26	27	28	29
インフルエンザ	0.02	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0.06	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	1.03	1.09	0.70	1.18	0.82	0.73					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.15	1.76	1.76	1.00	0.91	0.64					
感染性胃腸炎	6.36	5.76	5.06	4.00	3.79	3.36					
水痘	1.94	2.15	1.36	0.94	0.94	0.73					
手足口病	1.06	1.15	1.88	2.91	3.06	2.82					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.09	0.03	0.06	0.03	0.12					
突発性発しん	0.36	0.67	0.97	0.55	0.48	0.55					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.97	1.58	2.09	3.48	6.24	7.79					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.94	1.15	1.61	1.58	1.42	1.15					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.50	0.13	0.25	0.38	0.13	0.13					
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0.14	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.14	0.29	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第29週、7/14～7/20)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.73	2.43	0.29	0	0.40	0	0.25	1.00	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.64	0.29	0.86	0	0.80	1.00	1.00	0.50	■
感染性胃腸炎	3.36	4.00	0.57	1.25	4.40	4.25	5.75	6.00	■
水痘	0.73	0.43	0.29	1.50	0.40	0.50	2.25	0	■
手足口病	2.82	1.71	2.57	0.50	0.40	7.75	0.50	13.00	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.12	0	0.14	0	0.60	0	0	0	■
突発性発しん	0.55	0.43	0.14	1.00	0.40	1.00	1.00	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	7.79	4.43	9.43	7.00	2.80	4.50	24.25	1.50	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.15	0	0.71	4.75	0	2.00	1.50	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0.50	0	0	0	0	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

水痘の発生は、県全体では先週より減少していますが、長浜保健所管内では増加しています。ヘルパンギーナの発生は草津、甲賀、長浜で多くなっており、警報発生基準値を超えています。特に、長浜では2週連続して急増しています。

滋賀県における保健所管内別警報発生状況(平成20年第29週)

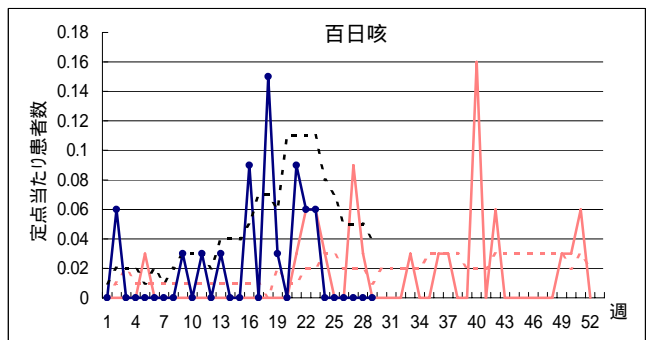
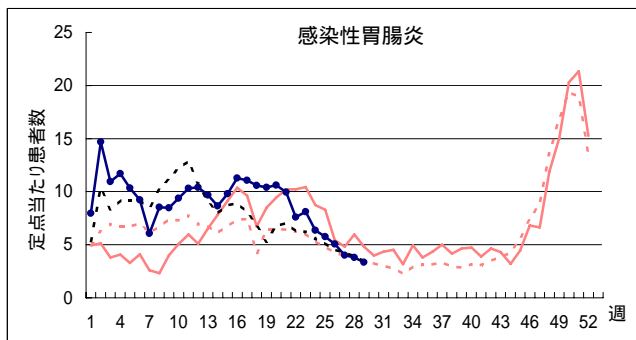
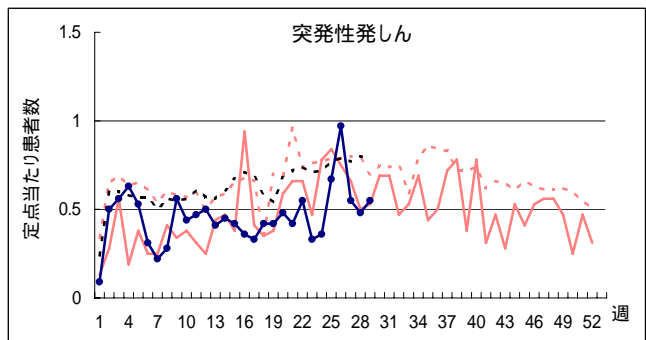
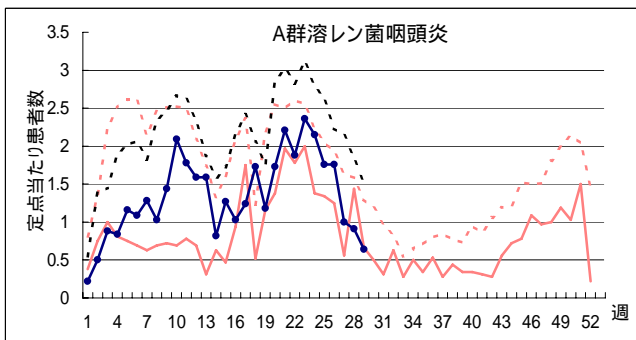
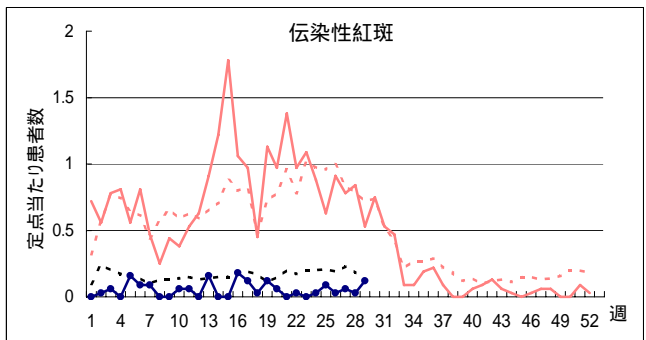
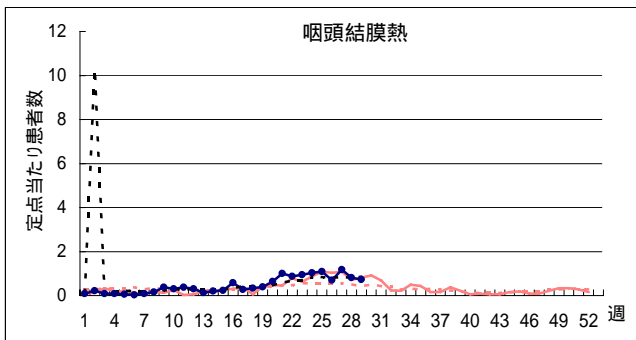
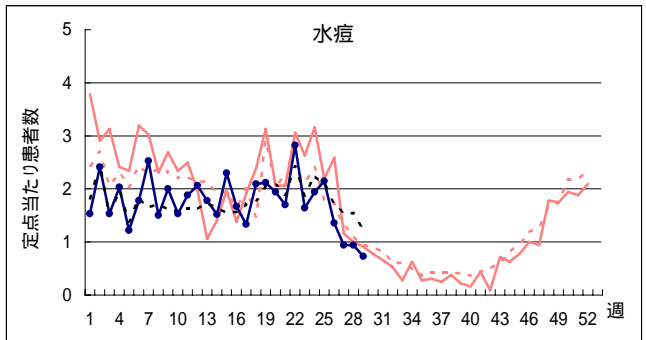
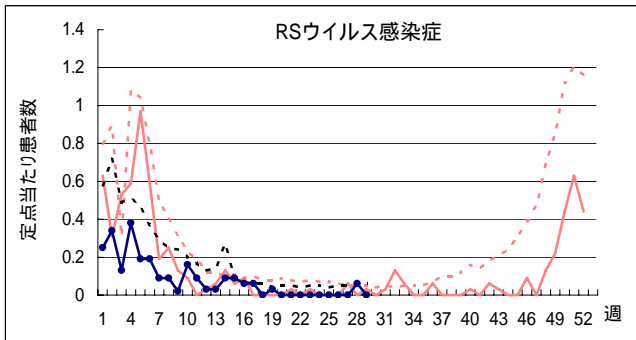
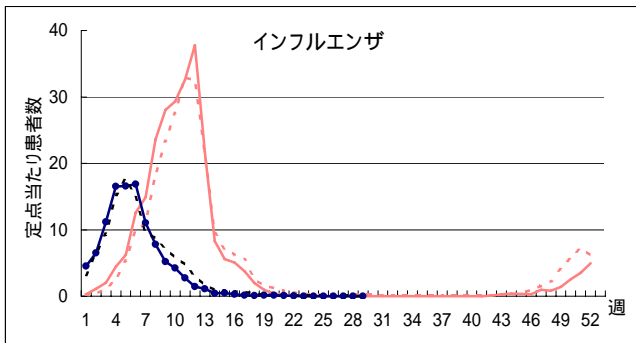
疾患名	県	保健所管内別								警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
咽頭結膜熱(プール熱)	0.73	2.43	0.29	0	0.40	0	0.25	1.00	2.00	0.10		
手足口病	2.82	1.71	2.57	0.50	0.40	7.75	0.5	13.00	5.00	2.00		
ヘルパンギーナ	7.79	4.43	9.43	7.00	2.80	4.50	24.25	1.50	6.00	2.00		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.15	0	0.71	4.75	0	2.00	1.50	0	6.00	2.00	3.00	

\*基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。  
■ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。

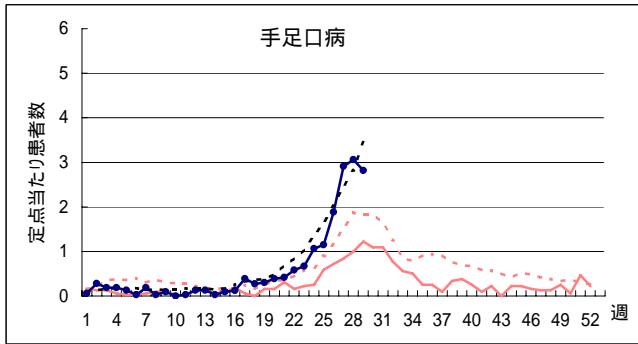
ヘルパンギーナは草津で、今週新たに警報開始基準値を超えています。また、東近江におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者数は、第21週以降(5/19～5/25)9週間ぶりに警報終息基準値未満となっています。

**流行発生警報(警報):**流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第29週、H19.12.31~H20.7.20)



# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第29週、H19.12.31～H20.7.20)



H19 { 滋賀 ————  
       全国 .....  
 H20 { 滋賀 ●●●●●●  
       全国 .....  
       週

